

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		10/11 ~ 10/18	10/18 ~ 10/25	10/25 ~ 11/1	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.016	不検出	不検出
		セシウム137	0.10	0.055	0.067
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	-	不検出
		セシウム137	0.040	-	0.051
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.026	不検出	0.021
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.050	0.060
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.10	0.013	0.021
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	0.016	0.027
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.031	不検出	0.032
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.046	0.044	0.046

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		10/11 ~ 10/18	10/18 ~ 10/25	10/25 ~ 11/1	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.019	0.029
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.013	0.016

検出限界値はおおむね0.02 ~ 0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授

(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第72回目

大気浮遊じん放射能測定結果の解説 (平成29年10月11日~平成29年11月1日)

平成29年10月11日~11月1日の間、南相馬市の大気浮遊じん中の放射能濃度は、セシウム134(平均0.0006 mBq/m³)およびセシウム137(平均0.056mBq/m³)ともに低い値でした。この値は、南相馬市で大気浮遊じん放射能の測定を始めた直後の平成26年12月10日の値(平均1.1mBq/m³)の1/18程度まで小さくなっており注1、健康影響を心配することはありません。

注1 みんなで学べる放射線のお話、作成:南相馬市健康づくり課、監修:南相馬市放射線健康対策委員会<http://rbnet.jp/minamisoma/minamisoma.pdf>

平成29年10月18日から25日までの間、金房小学校において電気設備等の工事が行われ、この間を欠測期間としております。